

令和4年度
ふれあい読書研究会
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

令和4年度ふれあい読書研究会

目次

☆委嘱校

☆活動報告

1. 合志市立合志南小学校PTA（令和3年度委嘱校）
2. 玉名市立玉陵小学校PTA
3. 山鹿市立鹿本小学校PTA
4. 菊池市立菊之池小学校PTA
5. 合志市立西合志第一小学校PTA
6. 菊陽町立菊陽西小学校PTA
7. 小国町立小国小学校PTA
8. 阿蘇市立内牧小学校PTA
9. 宇土市立網津小学校PTA
10. 宇土市立鶴城中学校PTA
11. 宇城市立豊野小・中学校PTA
12. 宇城市立不知火小学校PTA
13. 天草市立楠浦小学校PTA
14. 天草市立牛深東小学校PTA
15. 天草市立倉岳中学校PTA
16. 上天草市立登立小学校PTA
17. 八代市立松高小学校PTA
18. 水俣市立水俣第一小学校育友会
19. 芦北町立田浦小学校PTA
20. 人吉市立人吉東小学校PTA
21. 水上村立湯山小学校PTA

令和4年度ふれあい読書研究会委嘱校

| | ブロック | エリア | 単位PTA名 |
|----|------|----------|-------------------------|
| 1 | 県北 | 合志市 | 合志市立合志南小学校PTA（令和3年度委嘱校） |
| 2 | | 玉名市 | 玉名市立玉陵小学校PTA |
| 3 | | 山鹿市 | 山鹿市立鹿本小学校PTA |
| 4 | | 菊池市 | 菊池市立菊之池小学校PTA |
| 5 | | 合志市 | 合志市立西合志第一小学校PTA |
| 6 | | 菊池郡 | 菊陽町立菊陽西小学校PTA |
| 7 | | 阿蘇郡市 | 小国町立小国小学校PTA |
| 8 | | 阿蘇郡市 | 阿蘇市立内牧小学校PTA |
| 9 | 県南 | 宇土市 | 宇土市立網津小学校PTA |
| 10 | | 宇土市 | 宇土市立鶴城中学校PTA |
| 11 | | 宇城市・下益城郡 | 宇城市立豊野小・中学校PTA |
| 12 | | 宇城市・下益城郡 | 宇城市立不知火小学校PTA |
| 13 | | 天草郡市 | 天草市立楠浦小学校PTA |
| 14 | | 天草郡市 | 天草市立牛深東小学校PTA |
| 15 | | 天草郡市 | 天草市立倉岳中学校PTA |
| 16 | | 上天草市 | 上天草市立登立小学校PTA |
| 17 | | 八代郡市 | 八代市立松高小学校PTA |
| 18 | | 水俣市 | 水俣市立水俣第一小学校育友会 |
| 19 | | 葦北郡 | 芦北町立田浦小学校PTA |
| 20 | | 人吉市 | 人吉市立人吉東小学校PTA |
| 21 | | 球磨郡 | 水上村立湯山小学校PTA |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

単位PTA名（合志市立合志南小学校）

児童生徒数（700）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入） 50,000円

（支出） 50,000円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- 講師の先生から実際に熊本県で起きた地震や水害についてのお話を聞く。
- 防災関係の本を読んで、自分の身を守るためには何が必要かを調べる。
- 調べたことについて身の回りのものを使って体験的に学ぶ。
- 与えられたミッションをクリアしていく。
- 学習の振り返りをする。



◎成果

- 本で調べたことが予備知識となり、実際の場面を想定したワークショップで本の知識を活かすことができた。



◎反省

- 本で調べたことを参考に、身の回りの様々なもので、身を守ることを学ぶことができたが本で調べる時間がもっととれればよかった。

3. 今後の取り組みについて



- 4年生を対象に行ったが、5,6年生でも行う予定である。この取組は、本を利活用した体験型の防災教室で児童に大変好評であった。次年度も4年生以上で行う予定である。

4. 要望・その他

- 実際に命を守るためには、有事の際に何をどのように使って身を守るかというゴールを設定したことで、必要性を感じて本を読むことができた。このような学習の機会をいただきましてありがとうございました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|--|
| 単位 PTA 名 (玉名市立玉陵小学校 PTA) | 児童生徒数 (315) 人 |
| 1 予算執行状況 (収入・支出) | |
| 【収入】 県 P 50,000 円 単 P 0 円 その他 0 円 | 【支出】 50,000 円 (書籍購入) |
| 2 活動内容・成果・反省 | |
| 【活動内容】 (1) 読み聞かせによる読書への関心を高める工夫 ○保護者や読み聞かせの会「たまよりひめの会」 「三ツ川女性の会」の皆様による児童への読み聞かせ ○中学生による小学生への読み聞かせ (2) 読書意欲を喚起する工夫 ○読書月間の取り組み (読書ビンゴ、しおり作り、しおりコンクールなど) ○「教科書に出てくる本」のコーナーの設置 ○金栗四三コーナーの設置 |  |
| 【成果】 ○保護者や読み聞かせグループ、中学生の読み聞かせにより、読書への関心が高まった。 ○図書室担当が季節感のある環境づくりをしたり、読書意欲を高めるキャンペーンを行ったりしているため、児童は喜んで図書室へ通っている。 |  <p>金栗四三コーナー</p> |
| 【反省】 蔵書数が少ないこともあり、「読みたい本がない」「おもしろい本がない」と話す児童が多い。 読書月間の取り組みに加え、展示や本の紹介など、児童が本を手に取りたくなるような工夫が必要だと感じた。 | |
| 3 今後の取り組みについて | |
| ・読書月間では、児童が本を手に取りたくなるような工夫 (環境設営や委員会による啓発活動) を行っていく。 | |
| 4 要望・その他 | |
| 特にありません。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|-----------------|
| 単位PTA名 (山鹿市立鹿本小学校) | 児童生徒数 (445) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50000円 単P 1700円 その他 | (支出) 51700円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <p>○毎月の第2金曜日の朝、読み聞かせ 読み聞かせは、PTAの「家庭教育委員」の方と 地域の方を含めた学校応援ボランティアの「大樹会」の方 計20名 ○読み聞かせ後の振り返り会 読み聞かせが終わった後、校長室に集まって、その日の振り返りや子ども達の反応などを話し合ったり、振り返り用紙に記入したりしている。 ○図書室掲示のボランティア 山鹿市の読書推進員と一緒に、子ども達が来たくするような図書室掲示の作成などのお手伝いを行った。</p> | |
| <p>◎成果</p> <p>読み聞かせ当日の朝、家庭教育委員と大樹会の方は、校長室で待機していただき、そこへ各クラスの子供達がお迎えにきます。教室に行くまでの間、読み聞かせをしてくださる方と、とても楽しそうに会話をしています。子ども達は、この読み聞かせがとても大好きで、朝から「今日は〇〇さんが来て、読み聞かせだから楽しみ～」と、楽しみにしている子どもが多いです。読み聞かせをされる皆様も工夫されていて、子ども達のために、地域の図書館から拡大された絵本を借りて準備したり、パネルシアター形式で読み聞かせをしたりなどの工夫をいただいています。子ども達が本への興味関心が高まるのはもちろんですが、保護者や地域の方との大切なふれあいの場となりました。</p> | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的にPTA家庭教育部の役員さんが読み聞かせをしてもらっている。お仕事の関係で、できない日もあり、ボランティアとして読み聞かせができる方を、さらに確保していきたい。 ・保護者の方は、他の学校では読み聞かせ以外にどのような活動をしているのかなどを知る機会が少なく、他の学校の実践等を学べる場があればいいと思う。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <p>○読み聞かせ活動の充実と、ボランティアの募集</p> <p>○子ども達がさらに興味関心を持ってもらえるような、読み方や本の選定についての研修</p> | |
| 4. 要望・その他 | |
| | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|---|--|-------------------|--|
| 単位PTA名（ 菊池市立菊之池小学校 ） | | 児童生徒数（ 290 ）人 | |
| 1. 予算執行状況（収入・支出） | | | |
| （収入） 県P 50,000円 | | （支出） 50,000円 | |
| | | ○内訳：図書購入費 50,000円 | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| ① 朝の読み聞かせ活動 毎週水曜日の朝活動の時間に、地域の読み聞かせボランティアの方に来校していただき、子どもたちへの読み聞かせを行ってきた。低学年・高学年に分かれてオンラインでの読み聞かせを行っている。 | | | |
| ② 家庭読書の推進 秋の読書月間から、木曜日を「みんなで読書の日」として、家庭での読書活動を進めている。子どもたちには「読書カード」を配付し、読んだ本を記録する活動を進めた。 | | | |
| ③ 職員による本の紹介 職員が児童に薦めたい本を展示するコーナーを図書室内に設置した。職員が薦めた本が人気だったため、今回の図書購入費で続巻を購入し、さらに図書室を利用する子どもの数が増えるようにしたいと考えている。 | | | |
| ④ 図書委員を中心に、壁面の掲示やミニごみ箱を設置したことで、図書室が明るく美しい雰囲気になった。クリスマスには、大きなクリスマスツリーを飾り、子どもたちが喜んでいて、11月の読書月間には、壁一面に景品のしおりを展示し、楽しい企画となった。 | | | |
| ◎成果 | | | |
| ○ 低・高学年の発達段階にあわせた読み聞かせをしていただく中で、本に対する興味関心が高まってきている。また、図書購入費で今話題になっている書籍を購入することができ、図書室に来る子どもの数が増えた。 | | | |
| ○ 家庭での読書の日とノーメディアデーを重ねたことで、家庭で本に親しむ環境が整ってきた。今後も家庭での読書の推進を呼びかけていきたい。 | | | |
| ○ 今年度は、11月の読書週間に新しい取組を2つ行った。「読書ビンゴ」の活動を通して、子どもたちが、様々なジャンルの本に親しむ機会を設けることができた。「好きな本の紹介カードコンテスト」には、約100名の応募があり、子どもたちが紹介文やイラストを工夫して書いていた。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| ○ 読書量には、個人差、学級差が大きい。読書月間だけでなく、学級担任と保護者の方々と連携した取り組みが必要である。また、読書意欲が高まるように、話題の本の準備や掲示物の工夫など計画的・継続的な取り組みを進めていくようにしたい。 | | | |
| ○ 家庭での読書を呼びかけているが、ゲームやYouTubeなどから離れられない子どももいる。読書の重要性を保護者の方々にもっと周知し、保護者の方を巻き込んだ取り組みを考えていきたい。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| ○ 子どもたちが本に親しむことができるように、読書イベント、読み聞かせ、図書室の環境整備など、継続した取り組みを進めていくようにしたい。また、子どもたちだけでなく、保護者の方も一緒になって読めるような書籍の購入や家庭読書の活性化など学校・PTAが連携しながら取り組んでいくようにしたい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| ○ 今年度、ふれあい読書研究会の活動委嘱を受けたことで、読書活動を活性化させることができました。心より感謝申し上げます。今後も、この素晴らしい取り組みが継続され、子どもたちの読書への興味関心が高まることを願っております。本当にありがとうございました。 | | | |


ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|---|-------------------------|----------------|---|
| 単位PTA名 (西合志第一小学校) | | 児童生徒数 (80) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000円 単P その他 | (支出) | 50,000円 (書籍代 47,081円) (文具・用品代 2,919円) |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアと図書委員との朗読発表会 (朝のリレー、あらしのよるに、外郎売) 3グループに分かれて練習・発表・意見交換 ・地域ボランティアによる紙芝居 昼休み、希望者参加、本校卒業生成成紙芝居上演 ・家庭読書の日 月1回、メディアコントロールの一環として、月ごとにテーマを決めてカード記入 ・図書室展示、掲示物の工夫 家庭読書カード全員分掲示、読書の木(児童・教職員)、前期貸出ベスト20、月ごとのテーマ本展示、図書委員のすすめる本、朝読書のための学級図書の充実など ・公共図書館との連携 学級文庫、移動図書館、週2回の回送など ・辞書コーナーの設置 県P費の一部を辞書購入費に充て気軽に利用できるコーナーを図書室前に設置 | | | |
| ◎成果 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でできなかった読み聞かせボランティアとの交流が図書委員、希望者と限定的ではあったが、対面で行うことができた。 ・卒業生が作った紙芝居「じいちゃんのほし」は今も運動会で取り組む「雨乞い踊り」や身近な地名も出て子ども達が興味を持って聞いていた。 ・家庭読書の日利用の少ない児童の来室や読書を通じた家族のふれあいの場になった。 ・本の展示方法を変えたり公共図書館の学級文庫、朝読書のための学級図書の配置をしたりすることで本に触れる機会が増えた ・県P費で新刊や興味を持てる本・役に立つ本を置くことができた。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況も落ち着かず定期的な読み聞かせ活動などができなかった。 ・じっくり読む本への移行や読書の幅を広げることがあまりできなかった。 ・読書力・量・傾向には個人差があるがその対応が不十分だった。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、委員会活動など修正を加えながら計画を立てていく。 ・小規模小学校の利点を生かして、個々に応じた読書指導ができるよう取り組む。 ・卒業生と読み聞かせボランティアとの交流の時間をもつ。 ・本に触れる機会、図書室に来る機会が増えるようさらに工夫していく。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実際に書店巡りをして子ども達の読書傾向をつかむ機会ができてよかった。子ども達に人気のある本や触れてほしい本、図書室にあってほしい新しい辞書、話題のスポーツ雑誌などいろいろ活用ができた。 ・一部は読書推進のため児童やボランティアの方への文具や用品に利用でき本当にありがたかった。 ・中間報告会では4人のグループワークや多数のレポートを拝見し、参考、刺激になった。ありがとうございました。 | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|--|--|---|--|
| 単位PTA名 (菊陽町立菊陽西小学校) | | 児童生徒数 (893) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50000 単P 0 その他 0 <hr/> 計 50000 | (支出) | 読み聞か戦隊オハナシマン謝礼 15000 書籍代 35000 <hr/> 計 50000 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| <p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者による本の読み聞かせ活動 (月1回、15分)。 ・オハナシマンによる読み聞かせを学校のテレビを使用してリモートでライブ配信する。 ・1冊の絵本を通して、親子のふれあいの時間を作る。 | | | |
|  | | <p>←絵本と感想を書くノートを入れてクラス内で回覧してもらい感想を書いていただくようにしました。</p> | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、保護者による読み聞かせを行う事での読み聞かせの楽しさを体験してもらうことで、子ども達の絵本に関する関心が高まった。 ・オハナシマンならではの読み聞かせで、読み聞かせに対する楽しみ度合いが高まった。 ・家庭で親子で読み聞かせを行ってもらう事で、家庭での読書を推進することができた。 | | | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年よりも読み聞かせの日が減ってしまった。来年度はもっと読み聞かせの日を増やしていけたら…と考えている。 ・ライブ配信では、中継が繋がっていないクラスがあった。連絡を徹底すべきだった。 ・前日に保護者による読み聞かせの連絡をしていたが、当日になって来ない保護者がいた。また、当日来れなくなった保護者もいて、担当予定だったクラスは担任に読み聞かせをお願いした。 ・読み聞かせの絵本が古くなっているものが多かったので、新しい絵本を選書・購入する必要がある。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、活動内容に記載している保護者による読み聞かせ活動を継続していく。 ・絵本の修繕なども積極的に行っていきたい。 ・来年度以降のふれあい読書の絵本の選書を行い、購入。次年度の活動に活かしていきたい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <p>本年度、ふれあい読書研究会の助成を受けることができ、大変感謝しております。助成金で、子ども達が絵本を楽しんでもらえる活動が推進できたと思います。この度は大変お世話になりました。</p> | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|---|------------------------|-----------------|--|
| 単位PTA名 (小国町立小国小学校) | | 児童生徒数 (245) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000 単P その他 | (支出) | 書籍 28,646 委員会活動・環境整備 21,354 <hr/> 50,000 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| <p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA母親委員による読み聞かせ ・小学生のうちに読んでおきたい本「おぐにっ子の100さつ」の選定とリストの配布 ・一斉読書（読書タイム）の実施 ・活発な図書委員会活動（読書週間、読書月間のイベントなど） ・学級文庫の活用 ・並行読書・調べ学習への貸出 ・全クラス週1時間の図書の時間の実施 ・年間貸出100冊達成者の表彰 | | | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年ぶりに読み聞かせを実施。和やかな雰囲気の中、本の世界を楽しむことができた。 ・小学生のうちに読んでおきたい本「おぐにっ子の100さつ」の選定と専用コーナーを設けた。発達段階に応じた図書を選びやすくなった。 ・一斉読書（読書タイム）の実施により、集中して読む姿が見られるようになった。読書意欲の向上につながっている。 | | | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課の都合上、読み聞かせの開始時間が変則的なため、保護者の都合を合わせるのが難しかった。 ・感染予防の観点から、中学生による読み聞かせが実施できなかった。 ・一斉読書（読書タイム）の継続的な実施が難しかった。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「おぐにっ子の100さつ」を活用した読書推進。 ・熊本日日新聞、子ども新聞の積極的な活用。 ・「うちどく」の参加率アップ。 ・一斉読書（読書タイム）の継続的な実施。 ・全クラス週1時間の図書の時間確保。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <p>ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、必読書の購入や傷んだ本の買い替えなどを行うことができ、蔵書の充実へとつながりました。また活発な図書委員会活動や図書室の環境も整備することができました。読書推進、調べ学習の支援をはじめ、今後も魅力ある図書館づくりに努めて参ります。この度はありがとうございました。</p> | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|---|-------------------|
| 単位PTA名 (阿蘇市立内牧小学校PTA) | 児童生徒数 (329) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 | (支出) 図書購入 50,000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <p>めざせ一人100冊!! 2年前から実施している取組であり、年間読書数「一人100冊」を目指して、図書担当や児童の委員会により、楽しい図書室運営及び読書数増進に向けた取組を推進している。</p> <p>読み聞かせ「声だけのひととき会」 コロナ禍により本の読み聞かせは中断していたが、PTA会長の提案で、給食時の校内放送で行う読み聞かせ「声だけのひととき会」を保護者に募集した。</p> | |
| <p>◎成果</p> <p>めざせ一人100冊!! 本年度いただいた本予算により、多くの新しい本を購入した。このことにより、児童がさらに興味を持って、楽しく図書室に足を運んでくれるようになった。令和5年2月10日現在、全校児童329名中147名が達成している。(2月21日時点)</p> <p>読み聞かせ「声だけのひととき会」 募集により、保護者及び教職員の有志7名が集まった。昨年末からの新型コロナウイルス感染症拡大のため、現在のところできていないが、状況をみて実施して行きたい。</p> | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により様々な教育活動が制限されてきたなかで、今年度新たに計画した読み聞かせの が実施できず残念であるが、今後の状況をみて積極的に取組を進めていきたい。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <p>○学校図書の充実 図書購入費用を生み出し、常に新しく児童が興味を持てるような本を揃えることにより、児童が気軽に楽しく足を運び、利用しやすい学校図書室を目指す。</p> <p>○児童自らの手による読書活動の推進 (委員会活動の充実と積極的取組) 「めざせ一人100冊」の実践を中心とし、本の冊数のみならず、各学年に応じた読書の質の向上等を目指した取組を委員会活動を中心として積極的に推進していく。</p> <p>○保護者や地域人材を巻き込んだ読み聞かせ活動の充実 コロナ禍により制限されてきた各活動を、状況をみながら進めていくことで、学校と保護者や地域とのつながりを深めていきたい。</p> | |
| 4. 要望・その他 | |
| <p>特にありません。大変お世話になりました。 報告書の提出が遅れ申し訳ございませんでした。</p> | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|--------------------|
| 単位PTA名 (宇土市立網津小学校) | 児童数 (119) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 単P その他 | (支出) 50,000円 (書籍代) |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| ◎活動内容 | |
| <p>① PTA委員や読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施した。</p> <p>② 読書月間に合わせて、読書まつり等のイベントを実施した。また、全クラスに「読書の日」として担任と一緒に図書室で過ごす日を週に1時間設定し、大人も子供も読書を楽しむことができるようにした。</p> <p>③ 新刊を新たに購入した。そして、児童が本を読みたくなるよう、図書室内外の飾り付けを工夫した。また、読書イベントを複数回実施した。</p> | |
| ◎成果 | |
| <p>① について PTA役員による定期的な読み聞かせや、網津フェスタに網津お話の会や宇土市人材バンクに申請して「宇土おじゃめ愛好会」に来校していただき、保護者と児童を対象に読み聞かせイベントを開催した。その結果、児童はより一層本や読書に興味をもった。さらに、自宅でも読み聞かせを行う保護者が複数いた。</p> <p>② について 定期的に学年ごとの読書量を昼の放送でお知らせしたり、デジタル機器を活用してハロウィン等のイベントを開催したりした。その結果、児童の読書量は増加した。また、担任も積極的に読書活動に参加したことで、児童は読書をより一層好きになりはじめている。</p> <p>③ について 四季に合わせて手作りの装飾を行った。また、ハロウィン等のイベント時には、決められた目標冊数をクリアしたら貰えるご褒美カードを作成した結果、児童の読書量は増加した。さらに、図書室の来館者も増加した。</p> | |
| ◎反省 | |
| <p>① について 新型コロナウイルス感染症対策のため、十分な時間が確保できなかった。また、学校の読み聞かせを行う時間帯が、午後1時20分からであったため、仕事をしている方が多数であったため、PTA担当が一人で複数学年を担当したり、学校の職員が代わりに実施したりすることになってしまった。</p> <p>② について 魅力的な活動であったが、司書補の負担が大きかった。担任にも余裕がほとんどないため、任せっきりとなってしまった。</p> <p>③ について 盛り上がったのは良かったが、ご褒美カードの取り合いになってしまった。全員に均等に配るなどの工夫が必要であった。</p> | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <p>読み聞かせボランティアを募り、地域と学校とが一体となって活動を継続させていきたい。司書補を中心として、魅力あふれる図書室経営を引き続き実施していく。また、国語の授業と連携させて、教科書に出てくる教材をはじめ、同じ作者の他の作品にも触れながら、より一層読書を身近なものにさせていきたい。</p> <p>メディアコントロールデー(毎月15日)を設定し、スマートフォンやパソコン、テレビやゲーム等をやめて、読書に親しむことができるよう工夫する。</p> | |
| 4. 要望・その他 | |
| <p>読み聞かせを本校職員で実施したが、どの学年にどの本が適しているのか分からなかった。毎年この事業をされているのであれば、読み聞かせをしてみてよかった本(仮称)として、どこかで紹介していただくと助かると思います。</p> | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | | | | |
|---|----------------------|-------------------|-----|----------------------|-----|-------------|
| 単位 PTA 名 (宇土市立鶴城中学校) 生徒数 (826) 人 | | | | | | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">(収入) 県 P 50,000 円</td> <td style="width: 50%; border: none;">(支出) 書籍代 49,455 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> 単 P</td> <td style="border: none;"> その他 545 円 (色模造紙、画用紙)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> その他</td> <td style="border: none;"> 合計 50,000 円</td> </tr> </table> | (収入) 県 P 50,000 円 | (支出) 書籍代 49,455 円 | 単 P | その他 545 円 (色模造紙、画用紙) | その他 | 合計 50,000 円 |
| (収入) 県 P 50,000 円 | (支出) 書籍代 49,455 円 | | | | | |
| 単 P | その他 545 円 (色模造紙、画用紙) | | | | | |
| その他 | 合計 50,000 円 | | | | | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | | | | |
| ◎活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の取り組み及び読書ボランティアの方による読み聞かせ (1年生のみ) ・月ごとのテーマに沿った SDG s 本のコーナーの設置 ・読書推進を目的とした図書まつり「鶴城クエスト2022」の実施 ・図書委員が来年度入学する小学6年生のために図書館内にある「中学生になったら読んで欲しい本」を選書し、小学校4校においてそれらの本の紹介及び貸出を実施 ・図書委員及び希望生徒による学級文庫のPOP作成 | | | | | | |
| ◎成果 <ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫は、本の入れ替えを行ったことで生徒たちがより関心をもって本を読んでもらうことができた。 ・2年間実施できなかった読み聞かせを今年度実施することができた。図書室では、絵本を借りることに抵抗がある中学生が、読み聞かせの時は絵本の世界を楽しんでいるように見えた。 ・図書まつりで普段は図書室をあまり利用しない生徒も図書室で本を借りることができた。今後また継続して本を借りる習慣をつけて欲しい。 ・初めて実施した小学校と連携して行った取り組みでは、小学生が中学生の選んだ本に関心を示し、本を借りてくれていたので、来年度の図書室利用につながる取り組みができた。 | | | | | | |
| ◎反省 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のために図書館の利用が制限されているため、いつでも誰でも利用できるように今後変えていく必要があると思う。 ・SDG s に関する本へ興味を引くような掲示や放送に取り組んでいたが、貸出数が少なかった。 ・小学生に中学校の図書館の本を選ぶ取り組みでは、図書委員が中心となって本を選んだが、図書委員以外の生徒も参加したかったという声があったので、数を増やして実施することも検討する。 | | | | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫の朝読書及び読み聞かせの継続 ・読書推進を目的とした学期ごとのイベントの実施。 ・小学校と連携した取り組みを今後も実施予定。 | | | | | | |
| 4. 要望・その他 | | | | | | |
| この事業に参加したことで、他の学校の取り組みを知ることができ、意見交換等も行うことができた。今後も児童生徒のために読書活動を推進できるような事業に積極的に参加したい。 | | | | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

4年度

| | | | |
|---|-----------------------|--------------------|---|
| 単位PTA名 (宇城市立豊野小・中学校PTA) | | 児童生徒数 (263) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 単P 研究会 合計 | 50,000円 50,000円 | (支出) 書籍購入 49,720円 (別紙) 備品購入 280円 合計 50,000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 (1) ファミリー読書 (2) ボランティア及び保護者による読み聞かせ (3) 「読み聞かせ」用図書の充実 (4) 広報誌による読書活動の推進・啓発 | | | |
| ◎成果 (1) ファミリー読書を通して家族のコミュニケーションを図り、きずなを深めながら読書への興味関心を高めることができた。 (2) 地域のボランティアの方々による読み聞かせを2年ぶりに実施することができた。 (3) 「読み聞かせ」用図書を購入し、「読み聞かせ」の時間の充実を図ることができた。 (4) PTA広報誌「しいの木」において、読書活動推進に関する記事を掲載し、その中で購入した書籍を紹介するとともに、家庭での読書量や読書習慣に関する好事例等を紹介することができた。 | | | |
| ◎反省 ・保護者による「読み聞かせ」も計画していたが、中学校の受験時期と重なり、感染症予防の観点から中止となった。 ・来年度からの宇城市学校図書館の電算化準備に伴う、図書館の長期閉館のため読書活動の充実を図ることができなかった。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| ・保護者による「読み聞かせ」等、学校主体で取組を進めてきたので、今後はPTA役員を中心として企画、実施を進めていく。 ・朝読書等、学校での読書活動の一層の充実を図るとともに、家庭での読書習慣の確立を家庭と連携して進めていく。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| ふれあい読書研究会の委嘱を受け、書籍購入による読書環境の充実を図ることができた。学校では、限られた予算の中での購入なので読書研究会の取組は大変ありがたかった。支援に感謝したい。 | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|---------------------------------|
| 単位PTA名 (不知火小学校PTA) | 児童生徒数 (369) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 単P その他 | (支出) 50,000円 内訳 本の購入費 50000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <p>今世界に誇る日本の文化「マンガ」を通して電子書籍や動画などで本離れが進む中、少しでも本に興味をもってもらい、学校の図書室に行くきっかけを創り、親と子世代の隔たりがない作品をみて家庭での会話につながり、マンガ本を通して家庭の会話、ふれあいを増やす。</p> | |
| <p>◎成果</p> <p>熊本出身の漫画家尾田栄一郎さんのワンピースは、幅広い世代を問わず人気があり、また熊本県もキャラクター像のPRに力を入れているところを踏まえこのワンピースを全巻図書室に配布し親子共通の話題として家庭での会話のきっかけにする。また、購入場所は地元の文具店にお願いする。</p> | |
| <p>◎反省</p> <p>マンガ本の導入に前向きに受け入れてくれた学校さんの協力がなければできなかった。ルール作りを行い今後どのような形で子どもたちがみていってくれるかを追う必要がある増刊されていく部分をどうしていくか？今後課題として出てくるであろう</p> | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <p>もっと子どもたちが気軽に本と触れ合える活動ができればいいとおもう このワンピースをきっかけに日本の新しい世界に通用する文化を発信できる子どもたちを育てられるようになっていくとこの活動が実を結ぶと思う。 親子での会話が増えたかどうかをアンケートでとる</p> | |
| 4. 要望・その他 | |
| <p>今回の活動でもっと幅広いかたちでこの助成金を活用する学校が増えたらいいなと願います。こんな突拍子もないような活動にご理解いただきありがとうございます。ありがとうございました。</p> | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|--|------------|-----------------|---------|
| 単位PTA名 (天草市立楠浦小学校) | | 児童生徒数 (107) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000円 | (支出) 図書購入費 | 49,625円 |
| | 単P 0円 | 消耗品 (マジック、用紙等) | 375円 |
| | その他 0円 | | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| (1) 地域の方々 (読み聞かせボランティア) の協力による読み聞かせ活動 | | | |
| (2) PTAふれあい読書研究会「チャレンジ企画」 | | | |
| (3) 親子読書 | | | |
| (4) 児童図書委員会による取組 | | | |
| (5) その他の取組 (移動図書館) | | | |
| ◎成果 | | | |
| (1) 地域の方々の協力による読み聞かせ活動は、ボランティアの方々の創意工夫で、とても充実した内容になった。季節にあった内容を読んでもらったり、キャラクターの衣装を着てもらって読んでもらったりするため、児童達が毎回楽しみにしていた。本の楽しさを教えてくださるので、本が好きな児童が育っている。 | | | |
| (2) 助成金でたくさんの図書を購入することができた。PTA「チャレンジ企画」では100冊読破で好きな本を購入できる企画を行った。多くの児童がチャレンジに成功し、児童の読書意欲が高まった。地域や各家庭からの本の寄贈があり、図書室の本が数、質ともに充実した。 | | | |
| (3) ノーメディアデーの設定と親子読書の評価を残す取組を行ったことで、積極的な親子読書が見られるようになった。 | | | |
| (4) 図書委員会の児童が、読み聞かせやしおりコンクールなど、たくさんの楽しい取組を行ったことで学校全体の読書意欲が高まった。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| (1) 読書意欲の個人差と学年差が大きい。チャレンジ企画においても達成者は低学年児童が多かった。高学年児童の読書離れをなくすために、本の面白さを伝えたり、読書のよさを紹介したりできるような、高学年児童も読書に意欲的になる企画をさらに考えていく。 | | | |
| (2) 親子読書において、各家庭での取組に差があった。家族、保護者の読書習慣は、児童の読書習慣につながると思う。近年、日常生活の中でメディアに触れる機会が多くなっているが、ノーメディアデーや親子読書の日を設定し、読書の時間も大切にしていただけるよう家庭啓発を行っていく。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| (1) 上記の活動の継続及び新たな取組を工夫し、今後も読書活動の充実を図りたい。また、児童たちがたくさんの本にふれることができるようにしたい。 | | | |
| (2) 保護者、地域の人材を取り入れた活動を今後も継続、推進していきたい。 | | | |
| (3) 児童だけではなく、親子で読書に親しむ機会がとれるように、家庭啓発を進めていきたい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、学校とPTAが連携して、読書活動を推進することができました。また、たくさんの図書を購入することができ、児童の読書意欲を高めることができました。読書研究会の取組に感謝いたします。 | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|-----------------|
| 単位PTA名 (牛深東小学校) | 児童生徒数 (103) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P ; 50,000 (支出) 50,000 (図書購入費用及び室内環境整備費として) 単P ; 0 その他 | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアによる月2回の児童への読み聞かせ ・図書委員会の活動：年間貸出冊数目標の設定、読書月間の取り組みなど ・図書室内掲示による読書啓発：テーマ展示や児童の作品展示など | |
| <p>◎成果</p> <p>読み聞かせ：感染症の状況に左右されたが今年度は13回行うことができ、子どもたちも楽しい時間を過ごすことができた。また、読み聞かせ終了後に使用された本の所蔵がある場合は面出し展示を行うことで、自分で読みたい児童への本に触れる機会を設けることができた。</p> <p>図書委員会活動：各学期1回の読書週間のイベント開催（1学期：読書パズル・2学期：読書郵便・3学期：読書スタンプ）、貸出冊数目標（一人70冊以上）の達成者は1月末時点で29名、学校全体の貸出冊数は5,766冊。</p> <p>掲示による読書啓発：図書委員会によるおすすめの本紹介、授業で作成した調べ学習などのまとめ作品を利用した本と共に展示。図書室内への展示という形で他の学年へ学習の成果を披露する場としての利用にもつなげることができた。また、図書掲示板を利用しての本の紹介を行うことで、見た児童が図書室へ足を運ぶきっかけにもなった。</p> | |
| <p>◎反省</p> <p>読み聞かせではボランティアメンバー個人の蔵書を読んで頂くことが多く、後から読みたいというリクエストに応えることができなかった部分があった。活動記録などで好評だった本を図書室に購入するなどの対応をとっていきたい。</p> <p>委員会活動では新型コロナウイルス感染症の影響に伴う図書室の利用制限など、今年度も不自由な環境での活動となり、イベント開催の際の日程の調整や啓発活動の時間のずれなどに苦慮する場面もあった。</p> <p>読書啓発活動では貸出冊数目標を昨年度より10冊増加させたこともあり、達成者数のみを見ると減少となった。全体の冊数自体は上回っているため活動の継続と、読む児童と読まない児童の読書量の差をどのように縮めていくかの課題も見えた。</p> | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <p>反省にも書いた課題である、読む児童と読まない児童の差を縮める取り組みを行いたい。今年度委員会活動・イベントとして行ったおすすめの本紹介を常時活動の一つに組み込み、読書の楽しさを共有する機会を増やしていきたい。</p> | |
| 4. 要望・その他 | |
| <p>委嘱金で子どもたちの本を買うこともでき、より多くの本とふれあう機会を得ることができました。ありがとうございます。</p> <p>中間報告会では他の地域の学校がどのような読書活動をしているかを知ることができ、勉強になりました。</p> <p>この経験を活かし、子どもが主役になれる読書活動を行うことができるよう努めていきます。</p> | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|---|------------------------------------|
| 単位PTA名 (天草市立倉岳中学校) | 児童生徒数 (59) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 | (支出) 書籍代 50,000円 ※詳細については別紙資料添付 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保・小・中・高の連携の一環としての読書の推進 地域ボランティアによる毎月の読み聞かせの実施 読書ノートの活用 本の紹介コーナー (掲示物等) の充実 読書標語・イラストコンクール・スタンプラリーの実施 図書室にある本を活用した手芸・工作教室 | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な取組を根気よく続けていくことで、図書室の存在を生徒に印象づけることができ、昼休みは多くの生徒が来館するようになった。 ・ 多くのジャンルの本をそろえることで、デッサン集など図書室の本を活用して絵を描いたりタブレットを持ち込んで学習に取り組んだり、読書以外でも図書室を利用する生徒が増えた。 ・ 本の購入についても生徒から積極的にリクエストされるようになり、読書に興味や関心を持つ生徒が増えてきた。また、読書が苦手な生徒に対しても漫画本を活用するなど、誰にとっても楽しい図書室になるよう工夫を行うことができた。 ・ 地域ボランティアによる読み聞かせについては、収入の一部を本の購入費に充てることで活動の充実に貢献することができた。 | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の読書の時間が減ったため、生徒の読書の時間は減少している。読書の時間の確保が十分にできなかったことが一番の反省点である。 ・ 読書ノートの使用方法を昨年度と変えたが、読書量の把握という点では十分な定着がなかった。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が読書を楽しめるよう、時間の確保に努めたい。 ・ 図書室を利用する生徒は増加したが、貸出冊数は伸び悩んでいる。本を借りて家庭で読む生徒が増えるよう、推進活動を進めたい。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 50,000円の予算で、読み聞かせボランティアで使用する本や、生徒が続きを楽しみにしていた本、また、興味を持って読むであろう本を購入することができました。授業をはじめ、多くの場面で大切にに使わせていただきます。今後も図書室の充実、生徒の読書活動の推進に努めていきたいと思っております。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

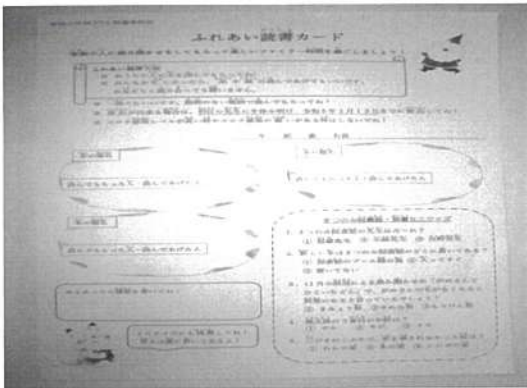
| | | | |
|---|-------------------------|-----------------|--|
| 単位PTA名 (上天草市立登立小学校) | | 児童生徒数 (185) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000円 単P その他 | (支出) | 紙芝居・大型絵本購入 24,944円 学級文庫収納棚の購入 25,056円 |
| | | 合 計 | 50,000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○地域ボランティア (熊日童話会) による月1回の読み聞かせ ○図書委員会の児童による低学年児童への読み聞かせを昼休みに実施 ○紙芝居、大型絵本の購入 ○学級文庫の充実 (収納する本棚の購入) ○上天草市「読書マラソン」の取組への参加による読書活動の推進 | | | |
| ◎成果 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○これまでは、学級文庫としてコンテナに本を入れて教室に設置していた。なかなか本の入れ替えができず、重量があるので移動もしにくかったが、今回、3段ボックスを活用してキャスター付きの本棚を各教室に設置することができた。本の入れ替えやフロアでの本の交換などしやすくなった。 ○コロナ禍で2年間実施できなかった地域ボランティアによる読み聞かせが、2学期から再開することができた。子供たちは、地域ボランティアの話を、楽しそうに集中しながら聴くことができていた。 ○図書委員会の児童による昼休みの読み聞かせには、低学年の児童だけでなく中・高学年の児童も楽しみにして参加していた。図書委員会の児童にとっても、やり甲斐のある活動となっていた。 ○上天草市「読書マラソン」の取組への参加も含めた読書活動の推進により、貸出冊数が、昨年度は1年間で約1万冊だったのが、本年度は1月末の段階で1万冊を超えていた。児童の読書に対する関心が確実に高まってきているといえる。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい読書リレー活動を予定していたが、実施することができなかった。今後、リレー形式でおすすめの本を紹介していく活動を実施していきたい。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○自ら進んで本を読む児童と、そうでない児童との個人差があり、また、学年が上がるにつれて読む冊数が減少する傾向があるので、今後も継続して読書活動の推進に取り組んでいきたい。 ○親子で読書を楽しみながら親子の絆を深めていけるような活動を、家庭、地域、学校で連携・協力しながら取り組んでいきたい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <p>ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、読書環境の充実を図ることができた。また、子供たちの読書意欲を高めることができた。今後も、この事業を継続していただき、機会があれば、是非活用させていただきたいと考えている。</p> | | | |

| | | | |
|-------------------|-------------|--------------|----------|
| 単位 PTA 名 | (八代市立松高小学校) | 児童生徒数 | (793)人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) 県P | 50,000円 | (支出) 書籍代 | 99,286円 |
| 単P | 60,000円 | イベント謝礼(紙芝居)代 | 8,360円 |
| その他 | 0円 | | |
| 計 | 110,000円 | 計 | 107,646円 |

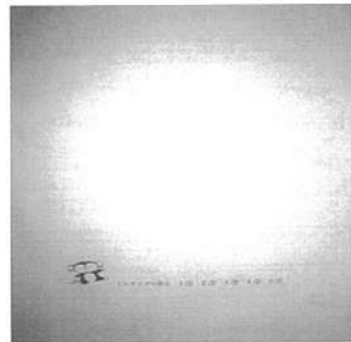
2. 活動内容・成果・反省

- ◎ 活動内容
- ① 放送による読み聞かせ活動
 ※PTA 図書委員長または、地域ボランティアに協力依頼し、月に1回、給食中に10分間放送による読み聞かせを行った。
 - ② 小学校図書館の本の除菌等作業
 ※夏休みの図書館開放日に一部ではあるが、PTA 図書委員長だけで本の表紙や表紙まわり・棚などを拭き上げた。
 - ③ ふれあい読書・読書クイズイベントの取組
 ※親子または家族で読み聞かせを行い、家族とのコミュニケーションを図り、家族との絆を深める。また、子供達の豊かな心を育む事を目的としてイベントを行った。図書館状況や昔話について、知ってもらい、また、楽しんでもらう為、同時に読書クイズも行った。イベント参加謝礼として紙芝居を小学校図書館へ寄贈した。
 - ④ 図書だよりの発行
 ※図書だよりの内容は、放送による読み聞かせ開始のお知らせや、ふれあい読書イベントの協力願い、読み聞かせ方法、読書の効能、新書籍購入分のお知らせ等を載せ、配布した。
 - ⑤ 小学校図書館へ新書籍の寄贈

【ふれあい読書カード】



(裏面に答え)



【図書だより(お知らせ)】 ⇒ 裏面に【新書籍の紹介(コロナ禍で報告出来なかった分)】



◎ 成果

○ 放送による読み聞かせ活動

絵を見せながらではない為、想像力を高められたのではないかと思う。また、本に対する興味・関心を持ってもらい、想像の世界を存分に楽しんでもらえたと思う。地域ボランティアの方にも協力して頂いた為、地域の方とも連携して行う事が出来た。読み聞かせ終了後、「読み聞かせは有難う御座いました」というお礼の言葉や拍手を頂き、喜んでもらえた。

○ 本の除菌等作業

PTA 図書委員長のみの活動となったが、400冊ぐらいは拭き上げる事が出来た。埃かぶっている本や汚れている本から拭き上げた為、図書館の環境作りに十分役立てる事が出来たと思う。

○ ふれあい読書・読書クイズイベントの取組

コロナ禍の為、強制的には行わなかったが、沢山のご家庭に協力して頂けた。感想の欄は大きくは設けなかったが、書いてくれた感想の中には、「読んでもらえてなかったから、嬉しかった」、「弟や妹に読んであげたら、喜んでくれて嬉しかった」、「読んであげて、上手になったからもっと読みたい」、「もっと読んでもらいたい」、「本が好きになった」、「感想を伝え合ったり、質問したりコミュニケーションがとれ、家族の仲が深まった」などの感想があり、沢山の家庭で家族との絆を深める事が出来たのではないかと思う。

○ 図書だよりの発行

興味・関心を持ってもらい、読書活動の推進に努められた。

○ 小学校図書館へ新書籍の寄贈

図書館蔵書の充実に役立てる事が出来た。

◎ 反省

- ・ 新型コロナウイルス感染対策の為、全体的に計画が難しく、本の整理・修理・除菌等の作業については、委員会の活動として新しく取り入れたが、感染者が多い時期に入り、実施を中止した。その後も本の整理・修理・除菌等の作業はなかなか出来ず、委員長だけの作業となってしまった。
- ・ 本年度は、PTA 図書委員の参加が出来る活動を全く実施する事が出来なかった為、計画に対する見直しが必要だった。

3. 今後の取り組みについて

- ・ 保護者や地域ボランティアの方と連携し、子供達の為に、読み聞かせ活動を今後も継続して行い、より沢山の本に親しめる様、活動・イベント等を工夫し、意欲・興味・関心をより高められる様、取り組んで参りたい。豊富で多様な図書館蔵書の充実と、これ以上の読書活動の推進に努められる様、来年度に引き継ぎたい。

4. 要望・その他

この様な活動、取り組みに参加する事が出来ました事を、心より感謝申し上げます。中間報告会では、他校との情報交換や活動等を参考にさせて頂ける場を設けて頂き、誠に有難う御座いました。今後の取り組みの参考にさせて頂き、より充実した活動を目指し、努めて参りたいと思いません。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | | | |
|---|---|-----------------|---|
| 単位PTA名 (水俣第一小学校育友会) | | 児童生徒数 (458) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000 単P 30,000 その他 0 | (支出) | ・図書購入費 76,349 ・ディスプレイ棚製作材料代 1,560 ・リメイクシート代 2,091 |
| | 80,000 | | 80,000 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①毎週火曜日の3ケンタイム (14:25~40又は15:20~35) での読み聞かせ ②「リレーうちどく」の実施 ③「どくしょすごろく」・「どくしょDEビンゴ大会」・「どくしょDEマラソン大会」の実施 ④卒業生への記録証作成 ⑤読書感想文課題図書・読書感想画課題図書の購入 ⑥ブックスタンド作成 ⑦折紙の製作 ⑧図書室内リメイク | | |
| ◎成果 | <ul style="list-style-type: none"> ○今年度は、貸出冊数だけに目を向けるのではなく、学力向上に繋がることを意識し活動することができた。 ○図書室入口の壁が剥がれていた部分や書架の劣化の部分、リメイクシートにて補修したおかげで景観が良くなった。 ○ディスプレイ棚を製作していただき、展示コーナーを有効利用することができるようになった。 ○予算の都合上、なかなか購入できなかった読み聞かせ用のビッグブックを購入することができた。 ○いただいた予算を執行し、幼年文学の本等を購入した。蔵書が増えたことで読書活動が活性化し、読書感想文等で例年より多くの児童が表彰された。 | | |
| ◎反省 | <ul style="list-style-type: none"> ○「リレーうちどく」において、最後まで回らない家庭もいくつかあった。読書習慣を身につけるだけでなく、親子内のコミュニケーションも目的としていることから、必ず全世代に繋がるような策を講じたい。 ○展示コーナーの入替頻度が少なかった。1ヶ月に一度のペースで入替できるよう努力する。 | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <p>長年続いている読み聞かせを絶やすことなく続けること、一人でも多くの本好きな児童を増やすこと、更に調べ学習の場としての本の充実に取り組みたい。</p> | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <p>ふれあい読書研究会中間報告会では、他校の実践内容、取組を知ることができ、たくさんの方のヒントをいただくことができた。今後も読書推進に励みたい。本当にありがとうございました。</p> | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|---|-----------------|
| 単位PTA名 (芦北町立田浦小学校 PTA) | 児童生徒数 (150) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000 円 単P 2,430 円 (担当部会予算より) その他 2月中に10,000円ほど追加で図書の購入を予定しています。 | (支出) 52,430 円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| ◎活動内容 | |
| 1. 地元の家具屋より本棚を購入し、PTAから寄贈された本専用の本棚を設置 | |
| 2. 本校PTA役員、担当部会にて本を選定して購入、寄贈 | |
| 3. 担当部会でポップを作成して設置 | |
| 4. 地元図書館より40冊ほど学校の図書室に本を貸し出していただき、子どもたちに「図書室においてほしい本」をアンケートを取り、上位10冊ほどを購入。※2月末に購入予定 | |
| ◎成果 | |
| 親や子供自身が本を選ぶことができ、「子供に今読ませたい本」「子供が今読みたい本」に触れる機会をより多く持つことができました。本を自由に選定できましたので、新刊を多く取り入れ、子供たちの興味を引きました。 | |
| また、PTA専用の図書棚を購入できたため、図書室内で新しいコーナーを設置しました。作成したポップの効果もあり、子どもたちの本を読む頻度や図書室へ足を運ぶ回数が若干ではありますが増えたようです。選定した本や本棚も地元で購入できたため、地域への周知にも繋がりました。 | |
| ◎反省 | |
| 保護者へのアンケートも実施しましたが、周知と訴求がうまくいかず、回答はほとんど得ることができませんでした。保護者の本を読む機会や習慣を得る取り組みが必要と感じました。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| 図書の寄贈は毎年実施していますので、今後も継続して行ってまいります。 | |
| 本の選定の仕方が今までは担当部会の判断でしたが、本年度の経験を踏まえ、保護者と子供の意見を多く取り入れていこうと考えています。そのためにも、「保護者の読書習慣」を訴え、親子で本に触れる機会を増やしていけるよう取り組んでまいります。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| 今回はこのような機会とご支援をいただきありがとうございました。本校は規模も小さく、PTA会員数も多くないため、各部会に割り当てる予算も限られています。学校の図書室の本棚の購入も普段の予算では難しかったため、本事業は大変ありがたかったです。 | |
| 今後も読書の大切さや楽しさを伝えていく活動に努めてまいります。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|---|-----------------|
| 単位PTA名 (人吉市立人吉東小学校) | 児童生徒数 (449) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P ¥50,000 単P ¥0 その他 ¥0 | (支出) ¥50,000 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| ◎活動内容 | |
| * 東小学校「わくわくお話し会」による、毎週月曜日・朝の読み聞かせ。 | |
| * 図書室で収納が難しくなっている大きな絵本用の収納棚の作製を、地元工業高校・建築科の生徒さんへ依頼。(3月中に納品予定) | |
| ◎成果 | |
| * 読み聞かせの活動は、20年に亘って行っています。コロナ禍の中でも、スピーカーマイクの利用や時間の短縮で、学校側の理解と協力を得ながら継続しています。本を読むことの楽しさを、低学年ばかりでなく高学年のお子さんにも伝えられていると感じています。 | |
| * サイズの大きな収納棚を入れることで、本自体が見やすく、選びやすくなり、子ども達の本との距離がより近くなる効果を期待しています。また、本の傷み具合に関しても緩和策となると思っています。 | |
| ◎反省 | |
| * 収納棚の製作に於いて、高校側との打ち合わせ等が遅くなってしまい、まだ出来上がってきていません。本を実際に収納してからの子ども達の反応や使い勝手なども、本来ならご報告しなければならぬところ、大変申し訳なく思っております。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| * 図書室内で収納棚に入りきれず、倒れたり、斜めの状態で保管されている絵本を見やすく、きれいに収納することで、より子ども達の視線に触れやすくして「本の死蔵品」を減らしていきたいと考えています。その「1冊」から読書へのきっかけも作っていけるような、“楽しい本棚”を、図書室の担当の先生や図書委員の子ども達と一緒に目指していきたいです。 | |
| * 読み聞かせは、今後も変わらず継続して参ります。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| 今回は「収納棚の製作」という、若干イレギュラーな取り組みに対し理解を示して頂き、本当にありがとうございました。子ども達にとって最も身近な「本と触れ合う場所」である学校の図書室の環境を整備できたことは勿論のこと、その製作を地元の高校生にして貰う…という取り組みは、地域と子ども達を繋ぐ貴重な機会にもなったと思います。きっと子ども達も「高校生のお兄さんたちが作ってくれた」こともプラスして、大切に扱ってくれるのではないのでしょうか。このような機会を頂き、心より感謝申し上げます。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年度

| | |
|--|--------------------|
| 単位PTA名（ 水上村立湯山小学校 ） | 児童生徒数（ 26 ）人 |
| 1. 予算執行状況（収入・支出） | |
| （収入） 県P 50,000円 単P 0円 その他 0円 | （支出） 50,000円（書籍購入） |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境整備 ② 朝の読書 ③ 読書記録 ④ 読書スタンプラリー ⑤ 読書月間・・・しおりコンクール、全校集会での読書に関する話、おすすめの本紹介 親子読書「家読チャレンジ」、地域学校協働活動による読み聞かせ | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本があふれる明るい環境づくりをすることができ、読書の機運は高まってきた。 ・ 朝の読書や読み聞かせ、読書記録など、読書の場を設定し、児童が本を手にする時間を増やすことができた。また、スタンプラリーやしおりコンクールなどをとおして、図書室へ足を運ぶ機会を増やすことができた。 ・ おすすめの本紹介や全校集会の話など、児童にとって選書のヒントを提供することができた。 ・ コロナ禍の中でも保護者の方や地域の方ともふれあいながら読書に親しむ取組ができた。 | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年に応じた選書ができるようにしたい。 ・ 読み聞かせボランティアへの協力を保護者の方にも呼びかけたが、希望者が少ないのが現状である。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の読書生活が充実し、本に親しむことができるような取組を今後も工夫し、継続していく。 ・ 保護者の方や地域の方とも連携した取組を進めていく。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間発表会は、他の学校と取組や課題などについて情報交換することができ、とてもよい機会となりました。今後も、この事業をぜひ継続していただき、また活用させていただきたいと思います。 ・ 本校は、今年度で閉校となり義務教育学校になります。新しい学校となっても今年度の取組を引き継ぎ、さらに広げて、本に親しむ子供たちを育てていきたいと思っています。 | |

ふれあい読書研究会

令和5年2月22日発行

熊本県PTA連合会

| | | |
|-----------|---|-------|
| 会 | 長 | 田中 万里 |
| 家庭教育担当副会長 | | 千原めぶき |
| 家庭教育委員長 | | 橋本 昭 |